

「小規模建築物基礎設計指針」講習会

<主 催> 日本建築学会

<後 援> 国土交通省、開催地都道府県、建築業協会、鋼管杭協会、コンクリートパイル建設技術協会、住宅地盤品質協会、住宅生産団体連合会、全国建設業協会、全国地質調査業協会連合会、地盤工学会、日本基礎建設協会、日本建築家協会、日本建築構造技術者協会、日本建築士会連合会、開催地都道府県建築士会、日本建築士事務所協会連合会、開催地都道府県建築士事務所協会、日本ツーバイフォー建築協会、日本木造住宅産業協会

本会の「小規模建築物基礎設計の手引き」は、刊行以来、今日まで 20 年間にわたって小規模建築物の技術の発展に大きく貢献してきた。しかし、最近の法の整備により小規模建築物においても地盤調査や基礎の設計を取り巻く環境が大きく変わり、また、不同沈下の障害や造成宅地地盤のトラブル、最近の地震時の液状化による地盤・基礎の被害など、現行の「小規模建築物基礎設計の手引き」では対応が難しい問題も現れてきた。このような背景のもとに、今回、書名を「小規模建築物基礎設計の手引き」から「小規模建築物基礎設計指針」に変更し、内容もそれに相応しく改定した。本指針は 12 章より構成されている。内容的には地盤調査や直接基礎の設計はもとより、「施工・品質管理」や「基礎の障害と修復」、「環境への配慮」、「造成宅地地盤」も独立した章として扱っている。これらは、基礎の設計に直接的に係わる内容ではないが、読者の要望がきわめて多いことや基礎設計の初心者にとって、設計法だけでなく、その周辺の諸問題についても分かりやすく解説する必要があると判断したことによる。

本指針の大きな特徴として、直接基礎の設計において許容応力度設計法に基づく「構造設計」のほかに「簡易設計」を提示したことである。ここでいう簡易設計とは、計算による構造設計の結果を考慮して安全側に見込んだ標準図表あるいは簡単なチェック程度で設計が可能な方法である。設計者は自分の判断により、いずれかを選択すればよい。また、本指針では、これまで、不明瞭であった杭基礎と地盤補強の違いを明確にし、地盤補強のみを対象に地盤改良や小口径杭の設計方法を示している。さらに、巻末には計算例も示した。

以上のように、本指針は小規模建築物の設計者および地盤調査や地盤補強工事の技術者にとって有意義な指針であると思います。ぜひ多くの方々が奮って参加されることを期待しております。

1. 開催日・定員・会場・申込先・参加費振込方法・振込先

開催地	開催日	定員	会場	申込先	参加費振込方法・振込先
東京	2008 年 2 月 19 日(火)	600	砂防会館別館 (東京都千代田区平河町 2-7-5)	東京会場(2/19)は定員に達しましたので受付を終了しました。 多くの方から追加講習会のご要望があるため東京会場追加講習会(4/16)を開催 します。開催要領につきましては下記をご参照ください。 http://www.aij.or.jp/Jpn/symposium/2008/foundations.pdf	
福岡	2 月 26 日(火)	150	福岡建設会館 7 階会議室 (福岡市博多区博多駅東 3-14-18)	日本建築学会九州支部 小規模基礎係 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 3-14-18 福岡建設会館 6F TEL 092-418-1611	* 銀行振込のみ ・福岡銀行博多駅前支店 普通預金口座 2250807 社団法人日本建築学会九州支部
札幌	2 月 27 日(水)	100	ホテルノースシティ (札幌市中央区南 9 条 西 1 丁目)	日本建築学会北海道支部 小規模基礎係 〒060-0004 札幌市中央区北 4 条 西 3 丁目 1 北海道建設会館 6 階 TEL 011-219-0702	* 銀行振込のみ ・北洋銀行北七条支店 普通預金口座 0087146 社団法人日本建築学会北海道支部
広島	2 月 27 日(水)	150	広島県情報プラザ 地下多目的ホール (広島市中区千田町 3-7-47)	日本建築学会中国支部 小規模基礎係 〒730-0052 広島市中区千田町 3-7-47 広島県情報プラザ 5F TEL 082-243-6605	* 銀行振込のみ ・広島銀行広島市役所支店 普通預金口座 1037026 社団法人日本建築学会中国支部
仙台	2 月 28 日(木)	100	ハーネル仙台 (仙台市青葉区本町 2-12-7)	仙台会場は定員に達しましたので受付を終了しました。	
金沢	3 月 4 日(火)	80	IT ビジネスプラザ武蔵 (金沢市武蔵町 14-31)	金沢会場は定員に達しましたので受付を終了しました。	
名古屋	3 月 5 日(水)	180	昭和ビル 9 階ホール (名古屋市中区栄 4-3-26)	名古屋会場は定員に達しましたので受付を終了しました。	
大阪	3 月 6 日(木)	340	大阪科学技術センター 8 階 大ホール (大阪市西区靱本町 1-8-4)	大阪会場は定員に達しましたので受付を終了しました。	
高知	3 月 7 日(金)	100	高知共済会館 (高知市本町 5-3-20)	日本建築学会四国支部 小規模基礎係 〒782-8502 高知県香美市土佐山田町 宮ノ口 185 高知工科大学連携研究センター 303 TEL 0887-53-4858	* 銀行振込のみ ・四国銀行山田支店 普通預金口座 0583662 社団法人日本建築学会四国支部

3. 参加費（テキスト代含む）

(1) 日本建築学会会員 10,000 円 (2) 登録メンバー 11,000 円 (3) 後援団体会員 12,000 円 (4) 会員外 (1,2,3 以外) 15,000 円
 * 登録メンバー：会員外であって本会「能力開発支援制度」に登録された方（詳細は本会ホームページ <http://www.aij.or.jp/jpn/CPD/> をご参照ください）

4. プログラム

	9:50～10:00	10:00～11:15	11:15～12:00	13:00～14:35	14:45～15:15	15:15～15:55	16:05～17:00
内 容	開会挨拶	第1章 総則 第2章 事前調査 第3章 地盤調査	第4章 荷重 第5章 基礎の計画	第6章 直接基礎の設計 第7章 地盤補強の設計	第8章 擁壁・地下室と山留め 第9章 施工・品質管理	第10章 基礎の障害と修復 第11章 環境への配慮 第12章 造成宅地地盤	計算例
東京 (2/19)		安達俊夫 (日本大学) 藤井 衛 (東海大学)	青木 功 (テクノックス)	梶川久光 (ミツホム) 妹尾博明 (大成建設)	伊集院博 (旭化成ホームズ)	伊奈 潔 (中央建鉄)	後藤年芳 (中研コンサルタント)
福岡 (2/26)		藤井 衛 (前掲)	工藤賢二 (積水ハウス)	岡野泰三 (三井ホーム)	郭 賢治 (トラバース)	伊奈 潔 (前掲)	郭 賢治 (前掲)
札幌 (2/27)		青木 功 (前掲)	水谷羊介 (兼松日産農林)	青島一樹 (大成建設)	齋藤 博 (住宅地盤品質協会)	須々田幸治 (ジオテック)	齋藤 博 (前掲)
広島 (2/27)		妹尾博明 (前掲)	工藤賢二 (前掲)	岡野泰三 (前掲)	郭 賢治 (前掲)	伊奈 潔 (前掲)	郭 賢治 (前掲)
仙台 (2/28)		安達俊夫 (前掲)	水谷羊介 (前掲)	青島一樹 (前掲)	齋藤 博 (前掲)	須々田幸治 (前掲)	齋藤 博 (前掲)
金沢*1 (3/4)		安達俊夫 (前掲)	工藤賢二 (前掲)	梶川久光 (前掲)	黒柳信之 (パナホーム)	近者淳史 (報国エンジニア)	黒柳信之 (前掲)
名古屋 (3/5)		安達俊夫 (前掲)	工藤賢二 (前掲)	梶川久光 (前掲)	黒柳信之 (前掲)	近者淳史 (前掲)	黒柳信之 (前掲)
大阪 (3/6)		若命善雄 (設計室ソイル)	松下克也 (ミサワホーム)	佐藤 隆 (住友林業)	後藤年芳 (前掲)	村上 満 (住宅地盤品質協会)	後藤年芳 (前掲)
高知 (3/7)		若命善雄 (前掲)	松下克也 (前掲)	佐藤 隆 (前掲)	後藤年芳 (前掲)	村上 満 (前掲)	後藤年芳 (前掲)

*1 金沢会場は開始時間を40分遅らせて10時30分開始、17時40分終了となりますのでご注意ください。

*2 講師・時間割りは都合により変更となる場合があります。

5. 申込み方法（参加申込書の注意事項も併せてご一読ください）

各開催地指定の方法にてお支払いのうえ、必要事項を明記した参加申込書を添えてお申し込みください。電話での申込みは受け付けておりません。

講習会 参加申込書			
講習会名・会場	「小規模建築物基礎設計指針」講習会 (会場)		
氏名(フリガナ)			日本建築学会 会員番号
会員区分	建築学会会員(個人 法人*1) 登録メンバー 後援団体会員(団体名) 会員外		
勤務先名	所属部署		
所在地	〒		
	電話	FAX	E-mail
参加費	円(支払い方法は会場によって異なりますのでご注意ください)		
支払方法*2	銀行振込：指定口座に入金のうえ、本申込書(振込依頼銀行欄記入または振込明細書コピー貼付)と参加券送付用封筒(80円切手貼付、宛名記入)を同封し、お申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。 郵便振替：大阪会場へのお申し込みの場合に限ります。近畿支部指定口座に入金のうえ、本申込書と振替書コピー、参加券送付用封筒(80円切手貼付、宛名記入)を同封し、近畿支部宛に申し込みください。折り返し参加券と領収書をお送りします。		
振込依頼銀行 (振込明細書 コピー貼付も可)	銀行名・支店名	銀行	支店
	ご依頼人(社)名		
	振込日	年 月 日	
	振込金額	円(他と合算送金の場合は通信欄へ内訳をご記入ください)	
通信欄			関連催し物 のご案内 今後、関連する講習会等催し物の案内を希望しない。 (今後、関連する講習会等催し物のご案内をお送りします。 ご希望されない方は、上の にしを入れてください)

*1 法人会員・賛助会員は1口につき1名を会員扱いとします。

*2 参加費の払い戻しはいたしません。振込手数料等は申込者にてご負担ください。